

六戸町

保存版

防災マップ

安心・安全なまちづくり



町民のみなさまへ

近年、日本各地で毎年のように想定を超える災害が多発し、洪水や土砂災害などの甚大な被害が発生しております。

そのため青森県では、奥入瀬川が大雨により氾濫した場合の浸水想定区域(河川の氾濫により、住宅などが水に浸かる区域)について、想定し得る最大規模の大雨(千年に一度の大雨)を予測したものへ見直しを行いました。

これにより、これまで六戸町には奥入瀬川の浸水想定区域はありませんでしたが、青森県の見直しを受け、新たに六戸町の一部が浸水想定区域へ指定されることとなりました。

この「六戸町防災マップ」は、これまで掲載されていた「土砂災害」へ、新たに追加となった「大雨による奥入瀬川の浸水想定区域」、「溜池が決壊した場合の浸水想定区域」及び「融雪型火山泥流による奥入瀬川の浸水想定区域」を加え、1冊にまとめたマップとなります。

災害はいつ発生するかわかりません。しかし、大雨や洪水などの風水害については、ある程度発生の予測が可能のため、事前の備えをすることで被害を軽減することができます。

皆さまには「六戸町防災マップ」で、お住まいの地域に想定される災害をご確認いただき、「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちが守る」を心がけ、いざという時に備えていただければ幸いです。また、本書はご家庭の目につくところへ常備くださるようお願い申し上げます。

六戸町

索引

町民のみなさまへ・索引	1	住まいが被害を受けたとき	10
防災情報の5段階警戒レベル・避難情報について	2	六戸町避難所・避難場所一覧	11
風水害対策について	3	六戸町全体図	12
洪水ハザード情報について	4	六戸町防災マップ1~8	13~28
土砂ハザード情報について	5	ため池ハザードマップについて	29~30
地震対策	6	火山ハザードマップについて	31~32
火災対策	7	わが家の防災対策&チェック	33
非常時持出品の準備&チェック	8	わが家の「防災・緊急情報」メモ	34
災害時の感染症対策	9	情報収集方法、防災無線テレフォンガイド、災害用伝言ダイヤル、防災関係機関連絡先等	裏表紙

令和3年5月20日から

警戒レベル

4

ひなんしじ 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示**で  
**危険な場所から全員避難**  
しましょう。

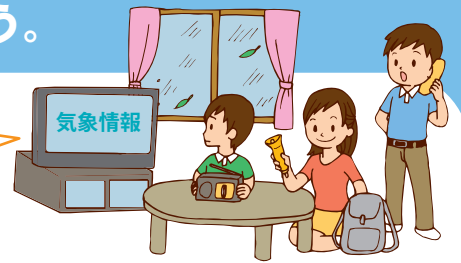
避難に時間のかかる  
**高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難**で  
**危険な場所から避難**  
しましょう。

# 風水害対策について

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策

まずは、  
 確実な情報が大事  
 その次に迅速な対応



### 特別警報・警報・注意報の発表基準

現象の種類	発表基準		
	特別警報	警報	注意報
<b>大雨</b>	数十年に一度の大雨が予想され、大災害が起こるおそれ著しく高まっている場合	大雨によって重大な浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合 記録的短時間大雨情報 1時間に雨量90mm ※大雨警報発表時、上記基準に達した場合に発表	大雨によって浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合
<b>洪水</b>	※全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。	大雨や融雪によって、増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 ※対象となる重大な洪水害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられる。	大雨や融雪によって、増水により洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 ※対象となる洪水害として、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられる。

### 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10mm以上~20mm未満	20mm以上~30mm未満	30mm以上~50mm未満	50mm以上~80mm未満	80mm以上~
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

### 台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。  
 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

(風速単位:m/秒)

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/秒以上44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

### 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域において、突発的・短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。  
 発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

# 洪水ハザード情報について

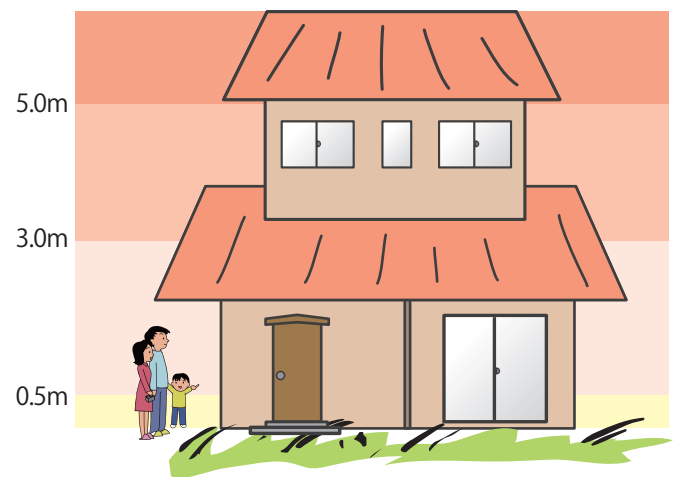
水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。  
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

## 1 説明

- 「六戸町防災マップ」に表示している奥入瀬川の浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- この防災マップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

- 浸水ランクの目安 想定した大雨の規模(奥入瀬川流域の12時間の総雨量303mm)

5.0m 以上の区域	2階の屋根まで浸水する程度
3.0~5.0m 未満の区域	2階が浸水する程度
0.5~3.0m 未満の区域	1階が浸水する程度
0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度



## 2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

### 洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

### 洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

### 水位周知を行う河川

- 奥入瀬川については、避難判断水位、氾濫危険水位が設定されています。これらの水位に達した場合、知事は関係市町村やマスコミを通じてお知らせします。

## 3 避難時の注意点

### ①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメットやずきん等で頭を保護する。
  - ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない!

### ②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流れが速い場合はさらに注意が必要!
- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

### ③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

### ④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者などは背負って避難する。
- ・子どもは大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。

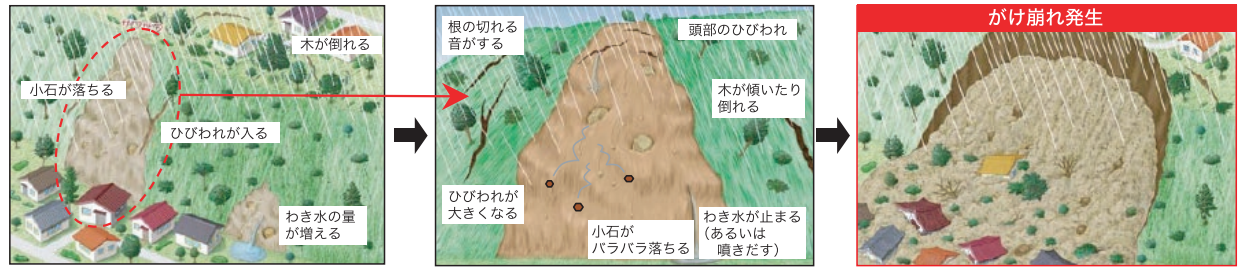
# 土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、(町総務課 電話 0176-55-3111(代))へ連絡するとともに、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

## 土砂災害の種類

### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



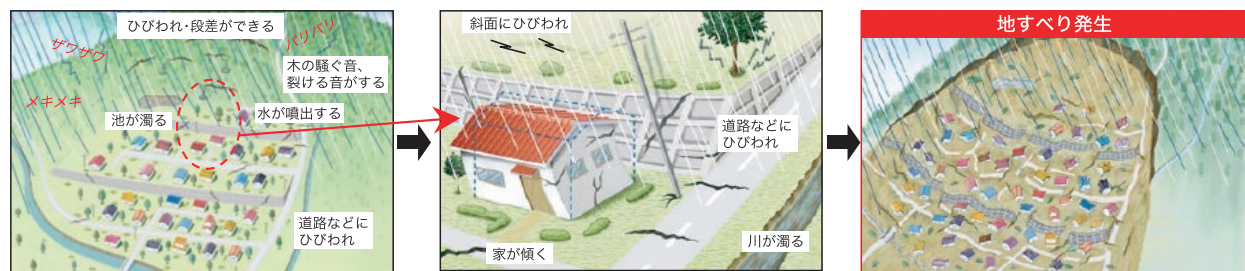
### 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害警戒情報について

### ●土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生が高まった時に、町が防災活動や住民等への避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるように支援すること、また住民の自主避難判断に役立てることを目的として、県と青森地方気象台が共同し作成・発表する情報です。

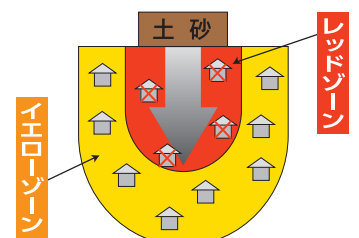
### ●土砂災害警戒情報の発表

県等が発表する土砂災害警戒情報を受け、町は、気象状況、前兆現象、青森県土砂災害危険箇所図(県の補足情報)や土砂災害警戒判定メッシュ情報(補足情報)の危険度指数等も併せて総合的に判断し、住民への避難情報等を提供します。また、住民への情報伝達は、防災行政無線や緊急速報メール(エリアメール)等を活用し、速やかに伝達します。

## 危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、青森県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)	建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)	土砂災害のおそれがある区域



# 地震対策 地震発生!そんなときどうする

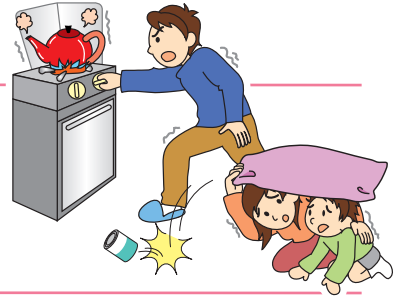
## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

**地震発生**

1~2分

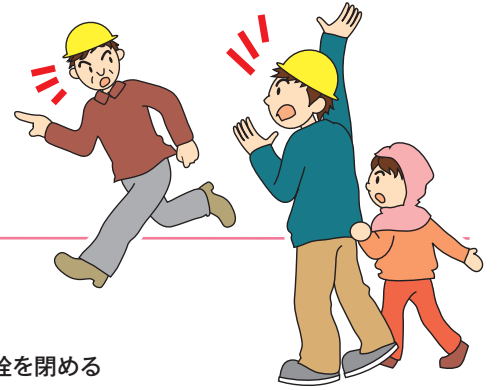
### 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すぐに火を消せるときは火を消す
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



### 揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱、靴や厚手のスリッパをはく
- 非常時持出品を準備する

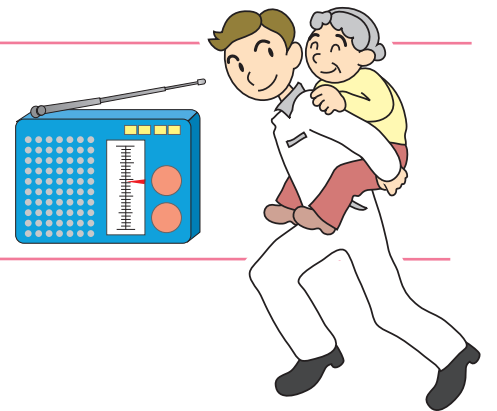


### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- |             |                                    |                        |
|-------------|------------------------------------|------------------------|
| ●隣近所に声をかけよう | ●要配慮者の安全確保                         | ●隣近所で助け合う              |
|             | ●行方不明者はいないか                        | ●ケガ人はいないか              |
| ●出火防止 初期消火  | ●漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める |                        |
|             | ●消火器を使う                            | ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく |

### ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる
- 災害・被害情報の収集
- 余震に注意する
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



### 協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 救出・救護活動
- 無理な行動はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

5分  
10分  
数時間  
3日

## 屋内にいた場合

### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

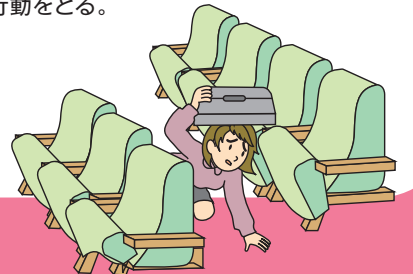


### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

### 劇場・ホール

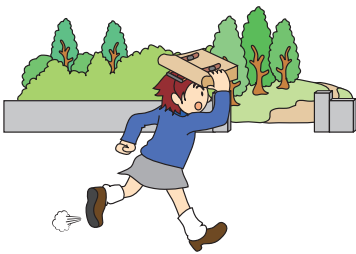
- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。



## 屋外にいた場合

### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。

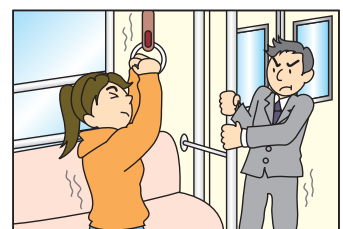


### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンをきる。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



# 火災対策 火災発生!そんなときどうする

## 初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

# 1

### 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

# 2

### 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。



### 火元別初期消火のコツ

#### 油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

#### 石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけてと石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

#### 衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すの方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

#### 風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

#### 電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

#### カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

# 3

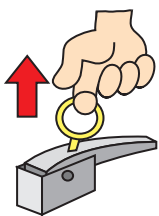
### 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。



## 消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけた上に引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

### 消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

## 火災予防が一番!!

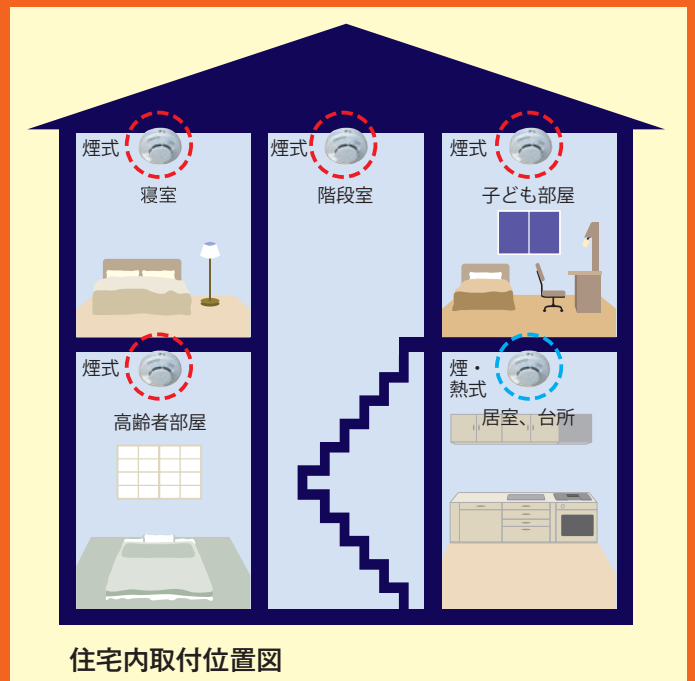
住宅用火災警報器(住警器)の適正な設置と維持管理を平成23年6月までに住警器の設置が義務付けられました。

【未だ設置していない世帯の方へ】住警器は人間の五感に替わり火災を感知するための機器です。火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

【既に設置している世帯の方へ】住警器の電池や本体には寿命があります。定期的に点検を行い、計画的な交換をお願いします。

### 設置する場所

- 寝室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の居室が寝室として使われている場合も含みます)へ設置が必要です。
- 階段…寝室が2階以上にある場合には設置が必要です。
- 台所・居室への設置もお勧めします。
- その他…寝室のない階でも、4.5畳以上の部屋が5部屋以上ある場合は、廊下に設置が必要です。





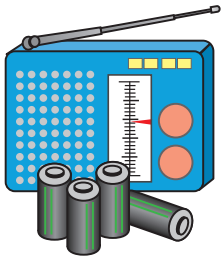
# 非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

## 非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### 携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

### 救急医療品



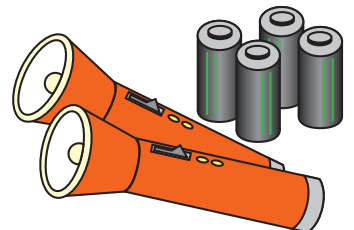
- 常備薬
- 絆創膏
- お薬手帳
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 消毒薬
- 普段服用している薬

### 貴重品



- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- マイナンバーカード
- 預貯金通帳
- 運転免許証
- 権利証書

### 懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

### 非常食品等

- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 離乳食
- 粉ミルク



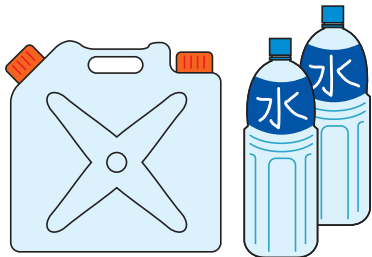
### その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- ポリ袋
- 紙皿・紙コップ
- 保温シート
- ウェットティッシュ
- ヘルメット・防災ずきん
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 紙おむつ
- 万能ナイフ・ハサミ
- マスク・軍手
- 雨具(レインコートなど)
- ライター・マッチ
- ラップフィルム・アルミホイル(止血や食器にかぶせて使う)
- 消毒用品
- 体温計

## 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(一週間)を生活できるようにチェック✓しましょう。

### 飲料水



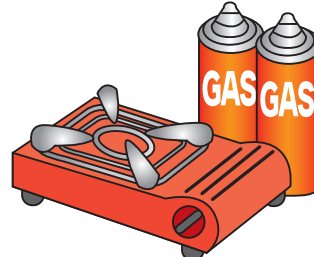
- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)又は貯水した防災タンクなど

### 非常食品



- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

### 燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

### その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など
- トイレトペーパー

## 非常時持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

### 避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)スコップなど。



### 過去の震災時に役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限は早めにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

# 災害時の感染症対策

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型感染症等が収束しない中でも、

災害時には、**危険な場所にいる人は避難することが原則**です。

## 知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。  
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公共施設だけではありません。  
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 避難所に避難する場合は、マスク・消毒液・体温計をできるだけ自ら携行して下さい。
- 町が開設する避難所は、災害の種別により変わります。  
その都度、町からの情報を確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。  
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。



### 新型感染症等の対策で非常持ちだし袋に加えたいもの

- ① マスク(ない場合はキッチンペーパーと輪ゴムで作成)
- ② アルコール消毒液
- ③ ハンドソープ・固形石けん(家族もしくは自分用を持参・避難所では共用しない)
- ④ 使い捨てのビニール手袋(ドアノブなど多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため)
- ⑤ 使い捨てのビニールエプロンまたはゴミ袋(避難所運営に協力する際に使用)
- ⑥ 体温計(町で用意出来ない場合があるため。使い慣れたものを持参しましょう)
- ⑦ ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋(多めに必要)
- ⑧ 携帯トイレ(トイレは我慢してはいけません。避難所のトイレが使えない場合に備えましょう)



# 住まいが被害を受けたとき 最初にする事

災害で住まいが被害を受けたときは、あまりのショックに、何から手を付けたらいいか分からなくなるかもしれません。被災者の方々が一日も早く日常の生活を取り戻せるように、行政も様々な支援に動き出します。それらの支援も受けながら、一歩ずつ再建を進めていきましょう。その支援を受けるためにも、被害状況を写真で撮るようお願いします。

## 家の被害状況を写真で記録しましょう

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。町から罹災証明書*を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、たいへん役に立ちます。

**ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。**

※罹災証明書とは

災害により被害を受けた住家について、被害の程度を証明するもので、町が交付します。被災者支援制度を受ける際や保険金を請求する際などに必要となる証明書です。

注意事項

- ・罹災証明書は、取得したからといって支援を受けられるものではありません。対象となる支援制度があるかについては、町へご確認ください。
- ・罹災証明書の申請期限は、被害を受けられてから原則3ヶ月以内です。それ以上の時間が経過してしまうと、被害を証明することが難しくなってしまいますので、早期の申請をお願いします。

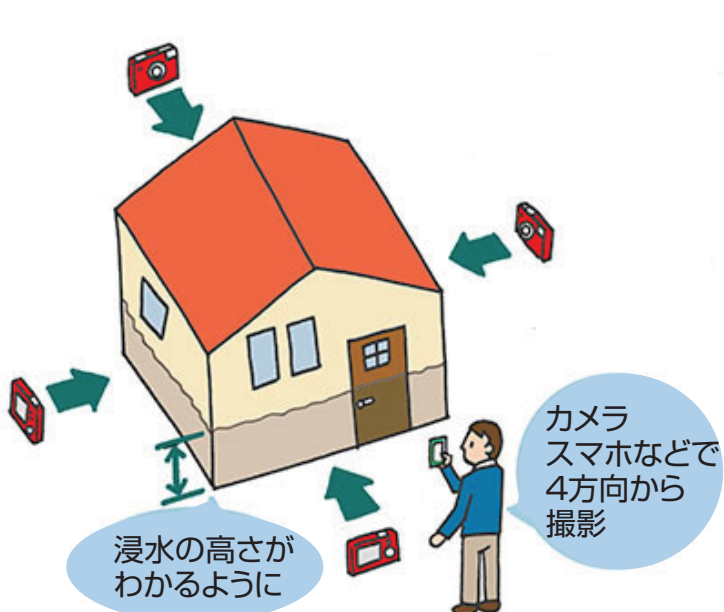
### 家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮りましょう。  
※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。

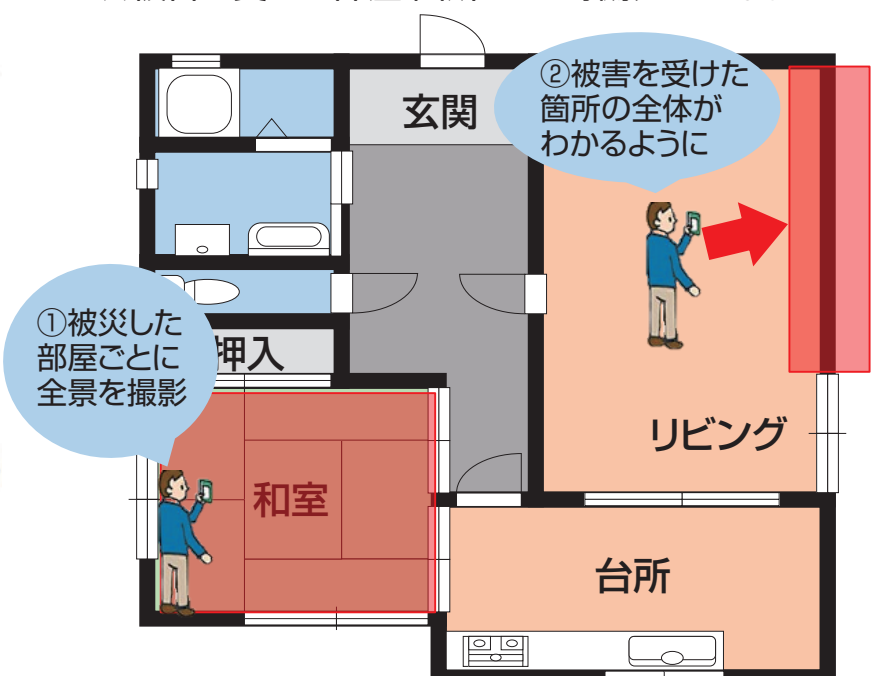
### 家の中の写真の撮り方

- 家の中の被害状況写真は、
  - ①被災した部屋ごとの全景写真
  - ②被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。  
<想定される撮影箇所>  
内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバスなど

## <イメージ図>



★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



# 六戸町避難所・避難場所一覧

避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるように心がけましょう！

## 指定避難所・場所

No	施設等名称	所在地	掲載マップ	収容地区	給水・炊飯施設	避難所	避難場所
1	六戸小学校	犬落瀬字明土 63	6	南町(-)(二)・上町	●	●	●
2	開知小学校	犬落瀬字権現沢 14-159	3	沖山・沖山平・大原・古里・古里団地・七百	●	●	●
3	大曲小学校	犬落瀬字柳沢 91-86	4	大曲・坪毛沢・高森(-)(二)・桜ヶ丘住宅	●	●	●
4	六戸中学校	犬落瀬字柴山 2-90	6	館野	●	●	●
5	七百中学校	犬落瀬字権現沢 54-41	3	ひばりヶ丘住宅・根古橋	●	●	●
6	六戸高等学校	犬落瀬字坪毛沢 25-163	6	たての台団地・通目木・づめき団地	●	●	●
7	旧長谷小学校	下吉田字下沼田 111-1	8	入口・中堤・長谷・下吉田(-)(二)・赤田・米沢・赤石	●	●	●
8	旧柳町小学校	柳町字百役 31-1	7	小平・柳町・鶴喰	●	●	●
9	六戸児童館	犬落瀬字明土 60-2	6	中町・押込	●	●	●
10	七百児童館	折茂字上折茂 67-45	3	堀切	●	●	●
11	折茂公民館	折茂字畑刈下 36-1	5	折茂・折茂新田・川原新田	●	●	●
12	岡沼地区構造改善センター	犬落瀬字四木 35-1	1	岡沼・金矢	●	●	●
13	六戸町総合体育館	犬落瀬字前谷地 12	6	下町・林・高見・柴山・高館・高屋敷	●	●	●
14	六戸町就業改善センター	犬落瀬字前谷地 61	6		●	●	●
15	六戸町老人福祉センター	犬落瀬字柴山 3-9	6		●	●	●
16	小松ヶ丘地域交流館	小松ヶ丘 5丁目 77-686	4	小松ヶ丘・晴ヶ丘	●	●	●
17	大曲小学校学童保育所	小松ヶ丘 5丁目 77-686	4	小松ヶ丘・晴ヶ丘	●	●	●
18	上吉田公民館	上吉田字前田 114-2	8	上吉田	●	●	●
19	旧折茂小学校グラウンド	折茂字前田 136-3	5				●
20	ふれあい昭陽館グラウンド	犬落瀬字四木 77-97	1				●
21	町営野球場	犬落瀬字前谷地 61	6				●
22	六戸町総合運動公園	犬落瀬字下久保 174-1	6				●

## 消防団屯所

施設名	所在地	掲載マップ
第1分団屯所	犬落瀬字後田 19-26	6
第2分団屯所	上吉田字上川原 11-9	8
第3分団屯所(折茂新田)	折茂字下田表 105	5
第3分団屯所(川原新田)	折茂字鳥喰谷地 170-3	5
第4分団屯所	柳町字百役 31-1	7
第5分団屯所	折茂字大道 112-4	5
第6分団屯所	犬落瀬字七百 73-6	3
第7分団屯所	犬落瀬字四木 35-1	1
第8分団屯所	下吉田字米沢 81-19	8
第9分団屯所	犬落瀬字中屋敷 2-3	2

六戸町消防団員募集中！ ～一緒に六戸町を守りませんか？～

- 入団資格
- ・六戸町に居住している、または勤務している方
  - ・年齢18歳以上、50歳未満の方
  - ・心身ともに健康である方

以上の条件を満たせば、男女問わず入団できます！



- 入団後の主な待遇
- ・年間一定の金額が報酬として支給
  - ・災害や訓練などに出場した場合に手当が支給
  - ・5年以上勤務した場合は退職報償金20万円支給* (勤務年数等により増額あり)
- *令和2年4月1日現在

## 避難所、避難場所とは？

避難場所と避難所(正式には指定緊急避難場所及び指定避難所)については災害対策基本法に定められています。概要については以下の通りです。

### 避難場所(指定緊急避難場所)

火災・洪水・土砂災害など災害の種類に応じて定めた身の安全を守るための広場や高台です。

### 避難所(指定避難所)

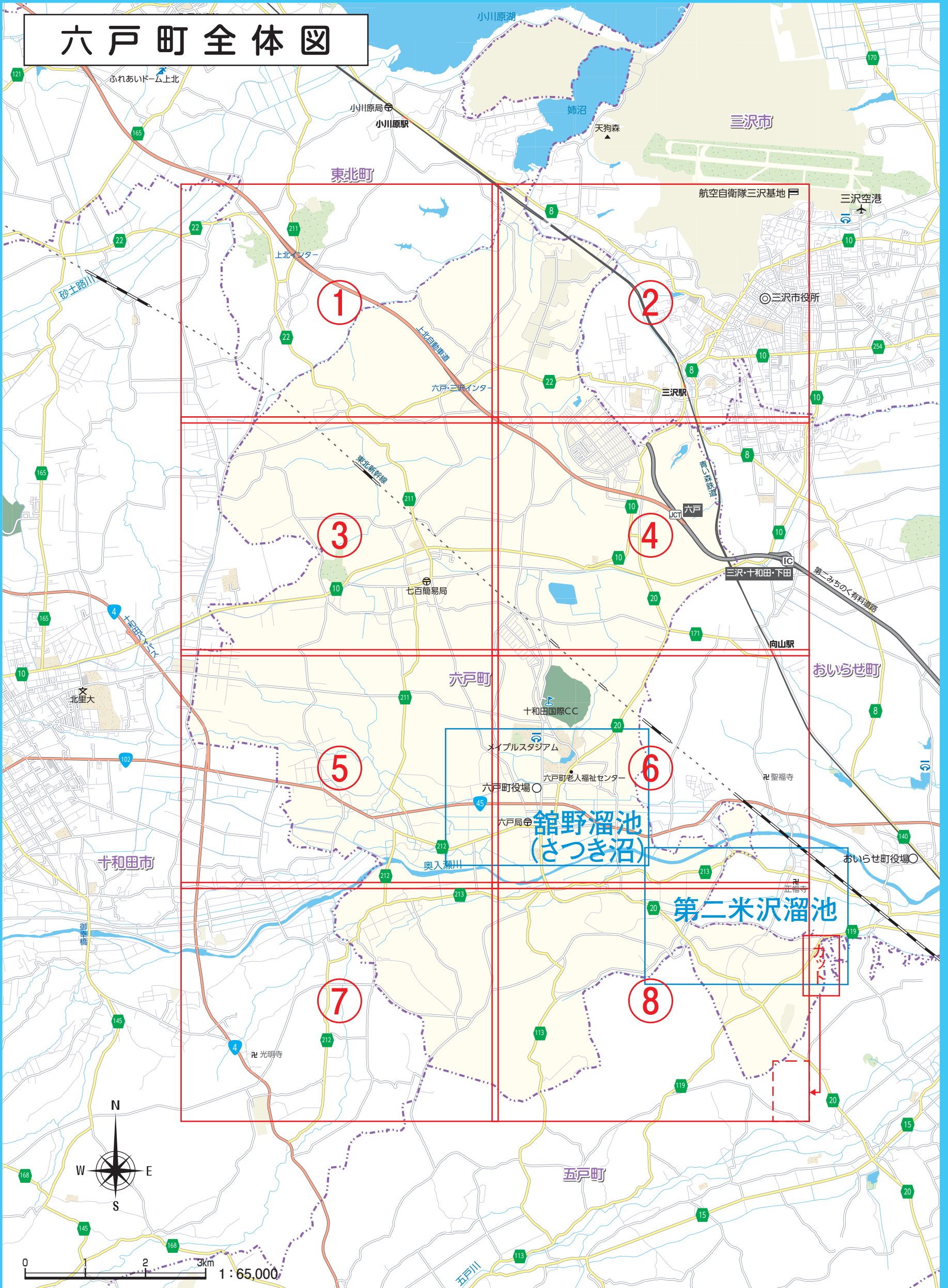
立ち退き避難や災害発生などにより自宅に戻れない人が一時的に生活する施設です。

### 福祉避難所(二次避難所)

避難所での生活が困難な高齢者や障がい者、妊産婦など、配慮を必要とする方を受け入れる施設です。

- 開設する避難所は、災害の種類、程度によって、その都度町が指定します。
- 福祉避難所は、避難生活の長期化に伴い、町(災害対策本部)が必要に応じて開設するものであるため、直接避難することをご遠慮ください。

# 六戸町全体図



1 2  
3 4

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

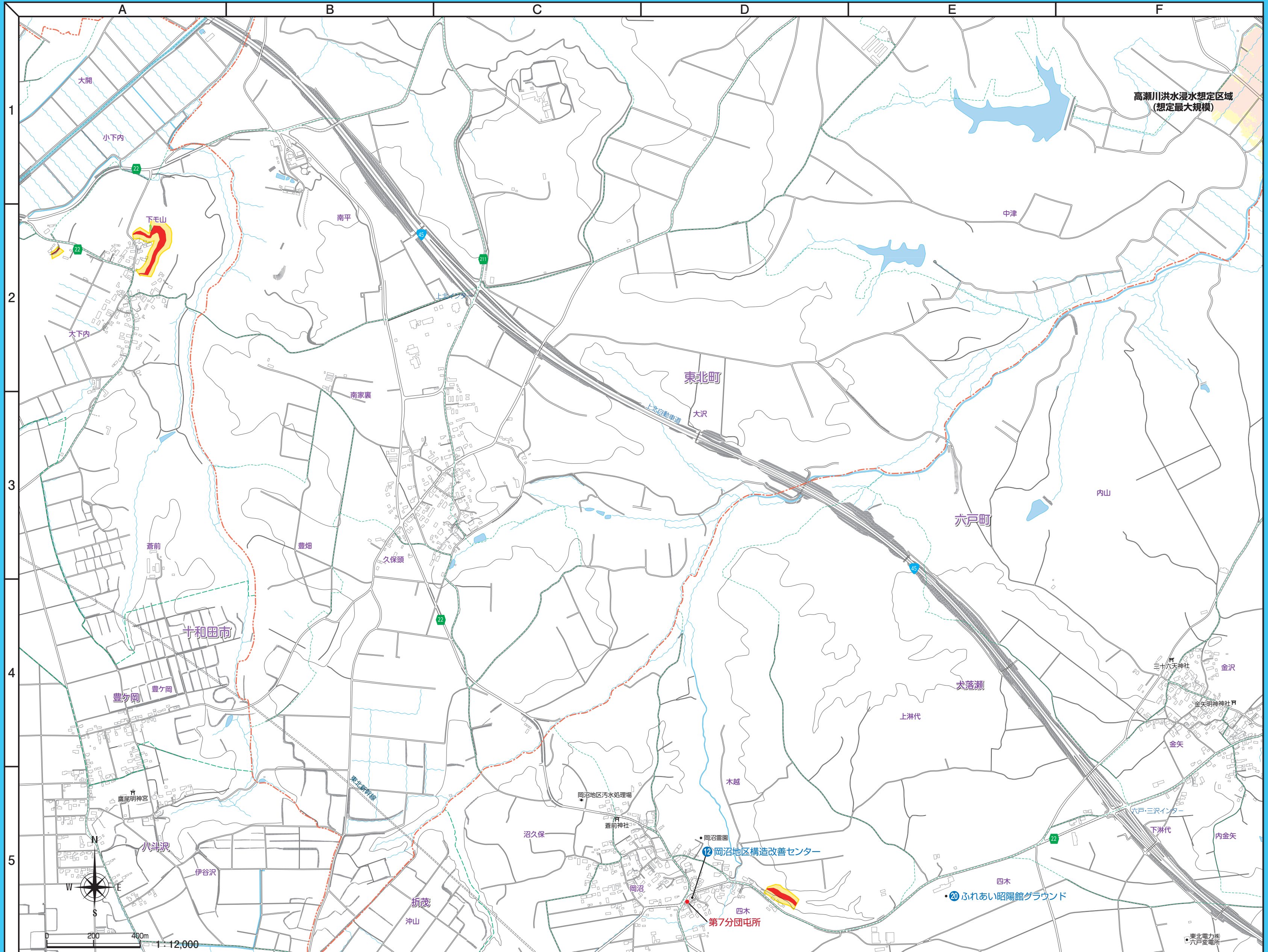
土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

消防団屯所

避難所・避難場所

- 3 (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示
- 各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください



1 2  
3 4

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

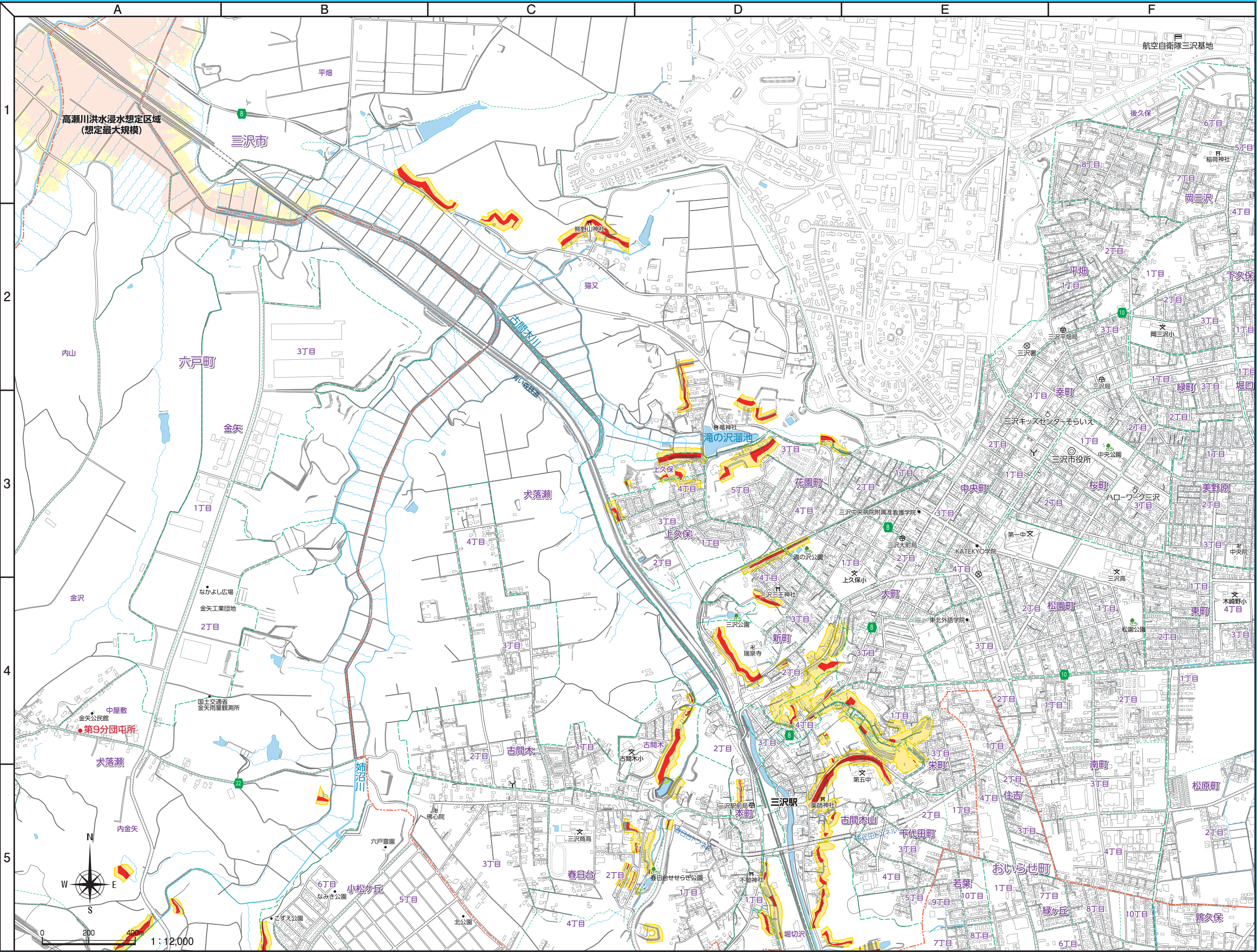
消防団屯所

●

避難所・避難場所

③ (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示

各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください



1	2
3	4
5	6

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

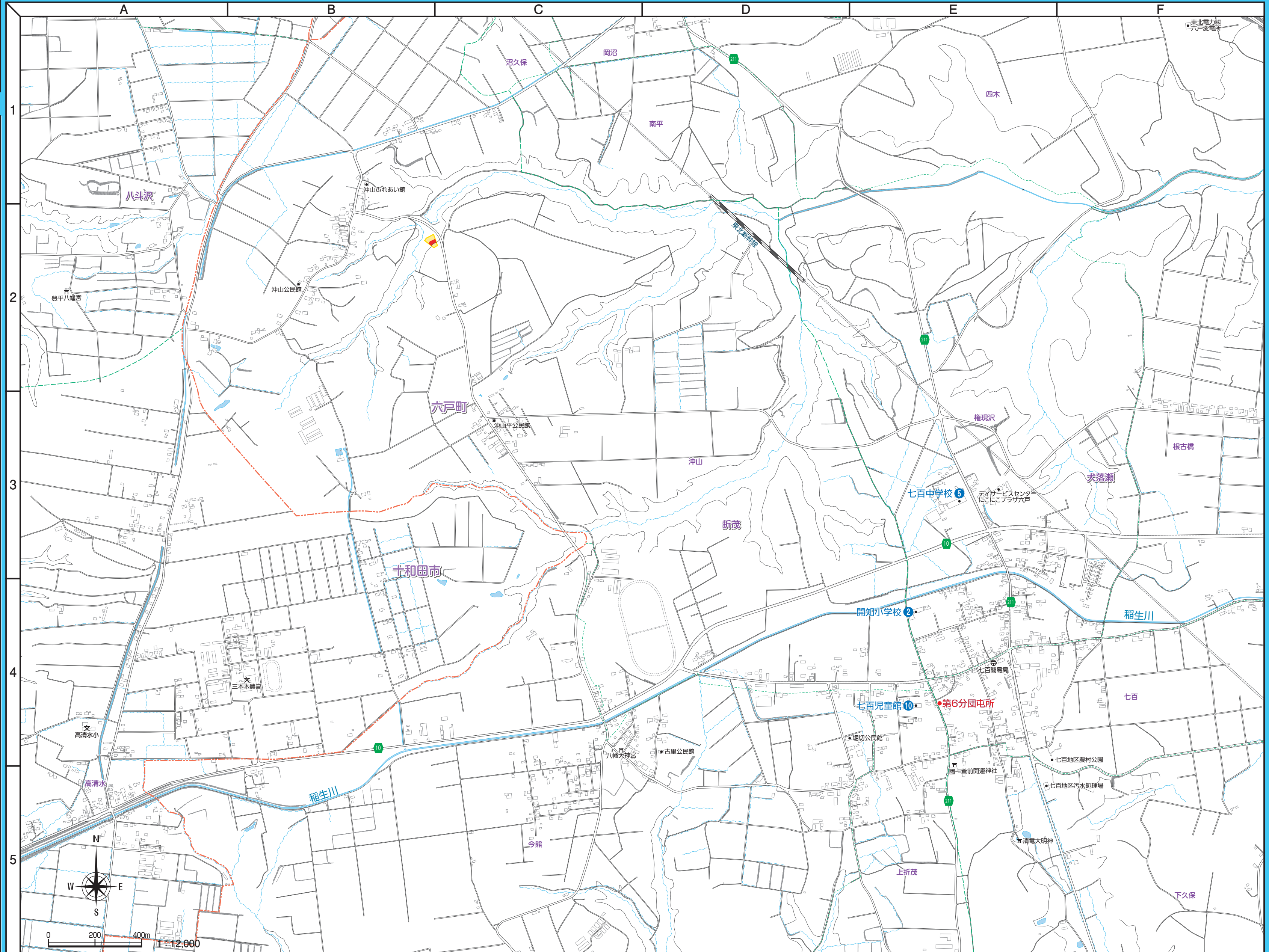
土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

消防団屯所

避難所・避難場所

- ③ (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示
- 各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください





1	2
3	4
5	6

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

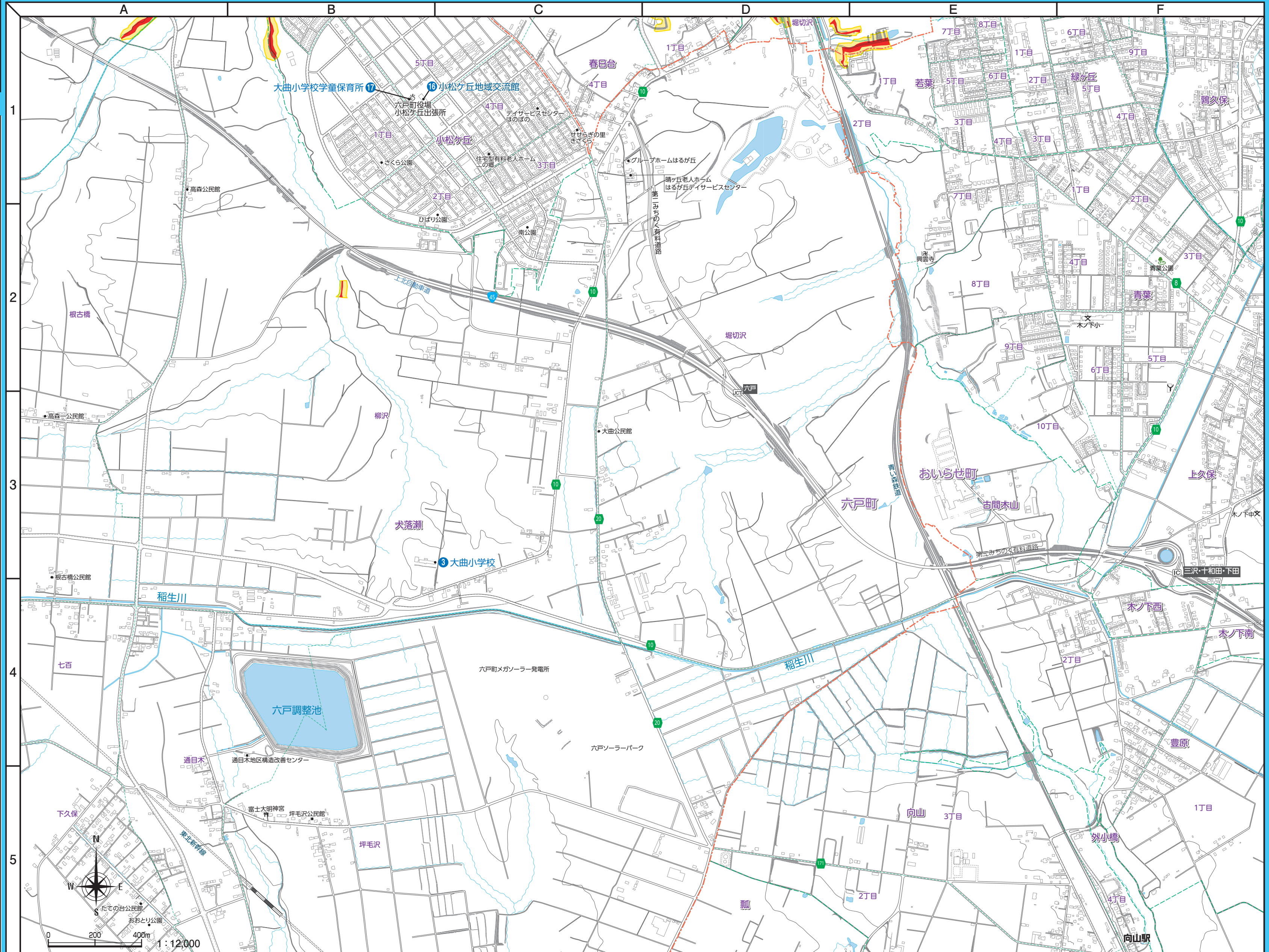
土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

消防団屯所

避難所・避難場所

- ③ (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示
- 各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください



3	4
5	6
7	8

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5～3.0m未満
- 浸水深3.0～5.0m未満
- 浸水深5.0～10.0m未満

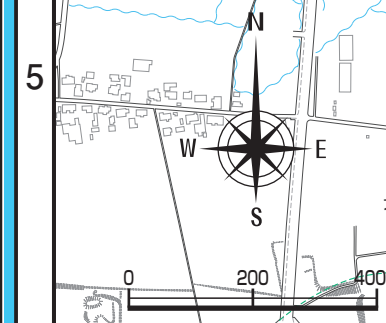
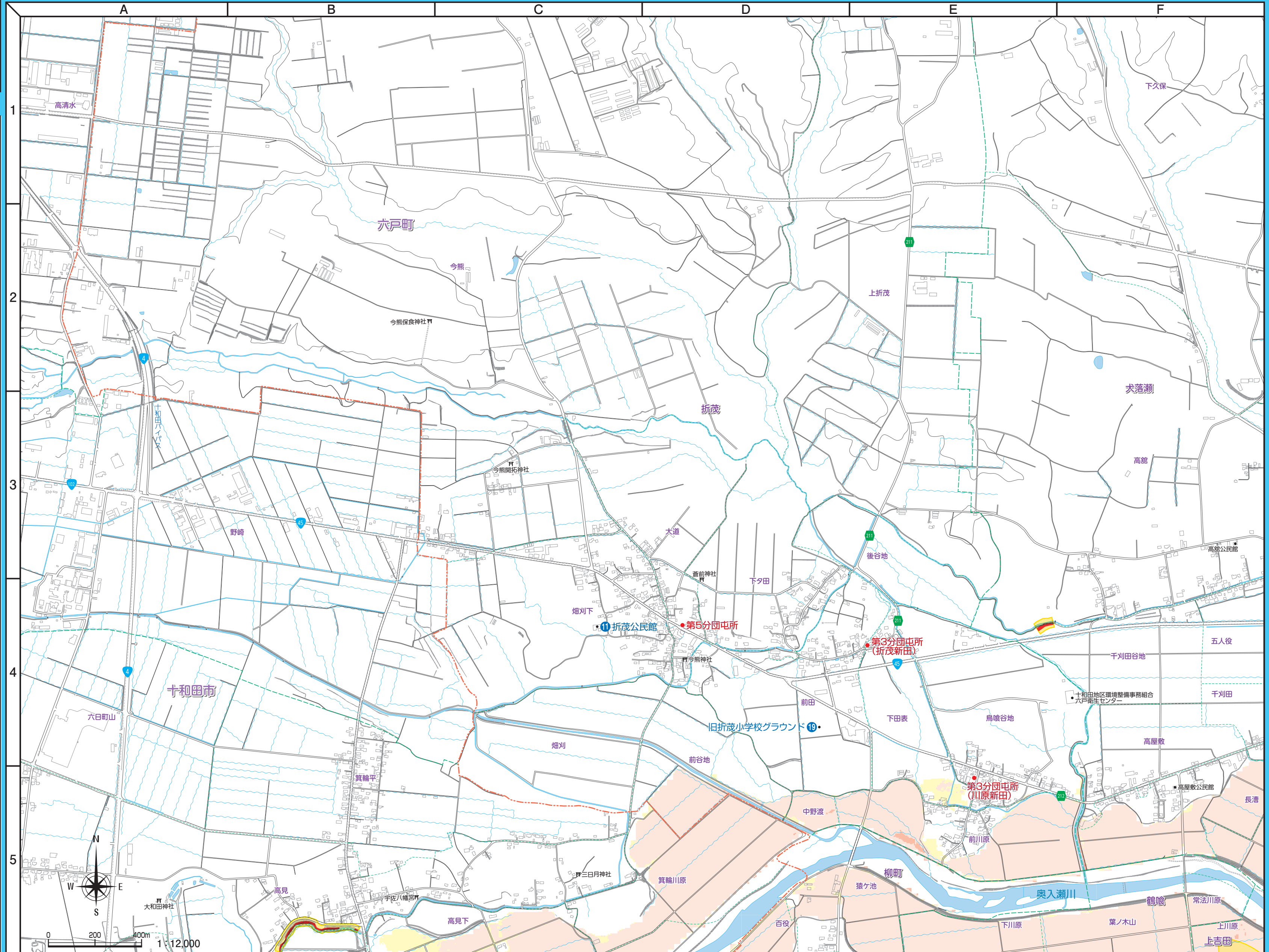
土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

消防団屯所

避難所・避難場所

- 3 (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示
- 各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください



3	4
5	6
7	8

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

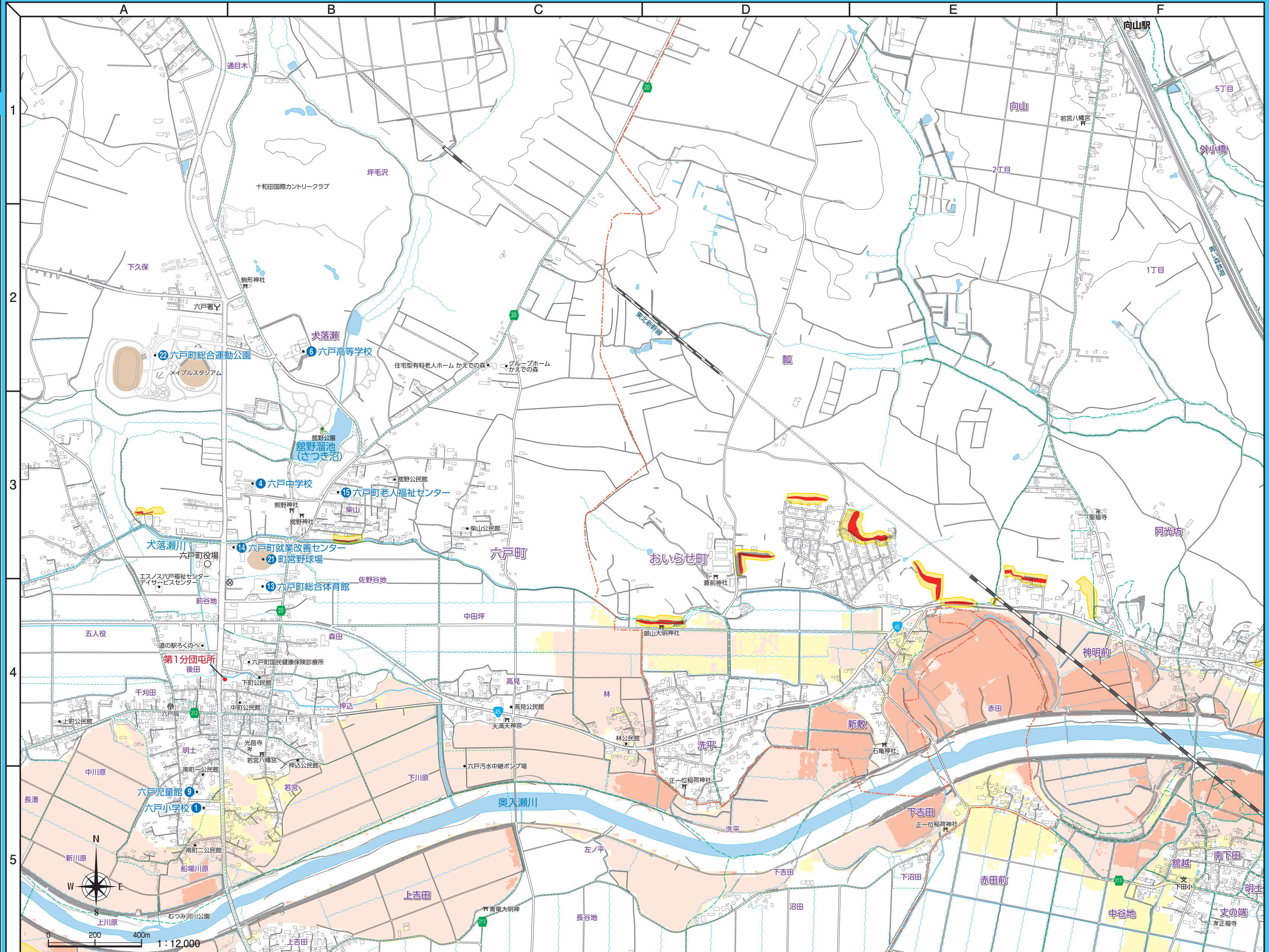
土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

消防団屯所

避難所・避難場所

- 3 (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示
- 各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください



5	6
7	8

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5～3.0m未満
- 浸水深3.0～5.0m未満
- 浸水深5.0～10.0m未満

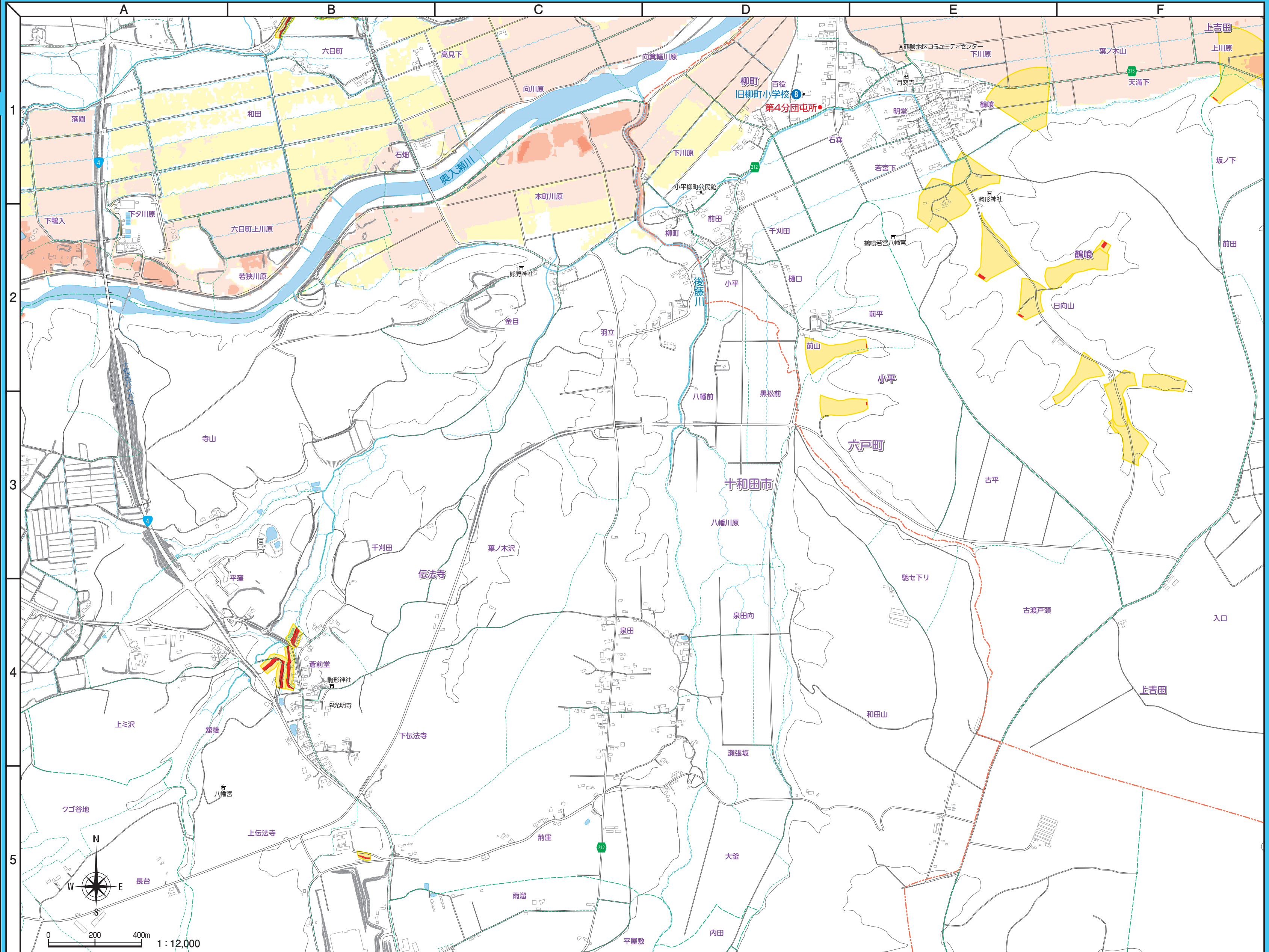
土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

消防団屯所

避難所・避難場所

- ③ (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示
- 各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください



5	6
7	8

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

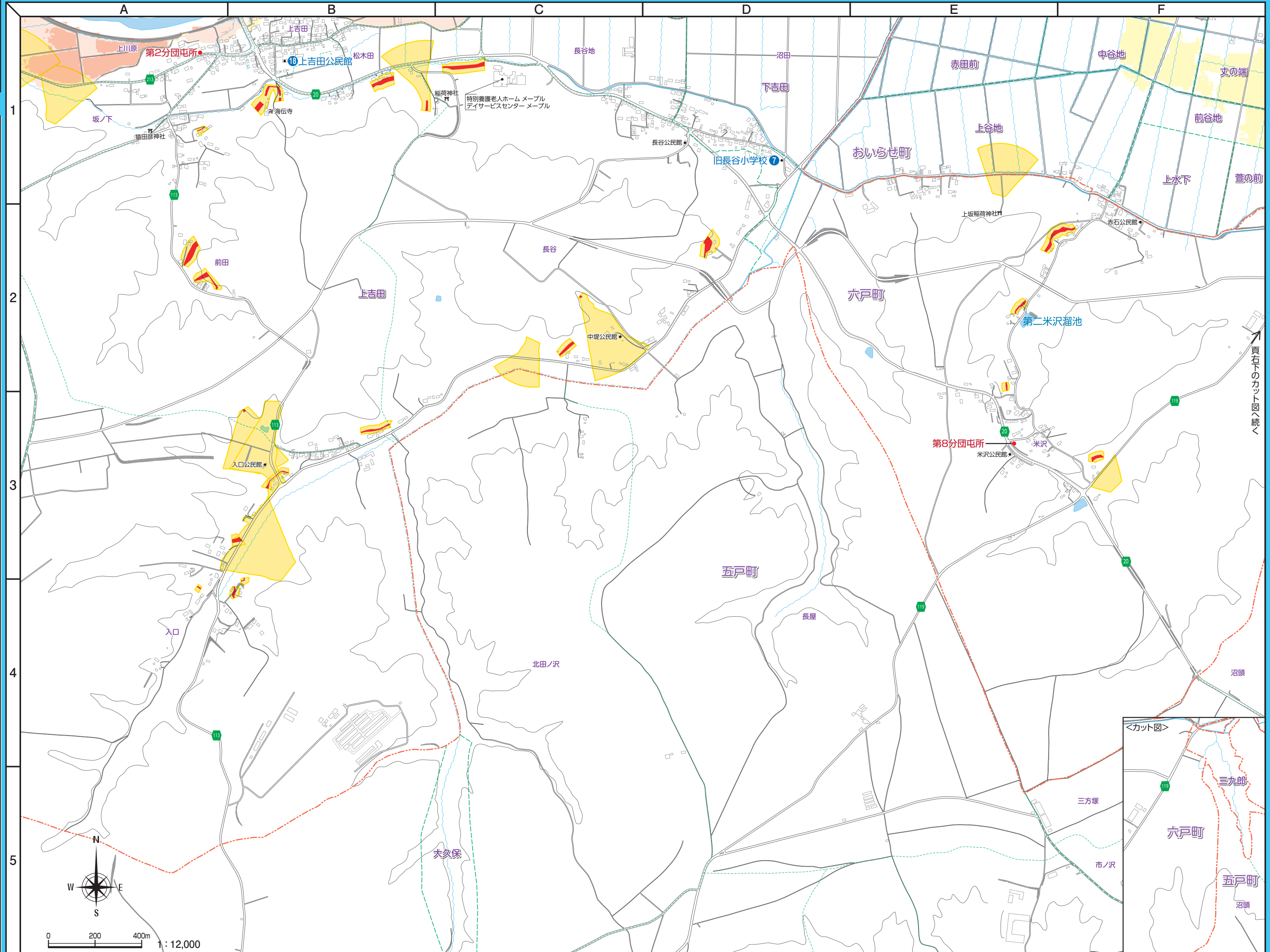
土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域  
著しい危険が生じる恐れのある区域 (レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域  
危険が生じる恐れのある区域 (イエローゾーン)

消防団屯所

避難所・避難場所

- ③ (例) ○○公園  
青色の番号と施設名で表示
- 各避難所、避難場所についての詳細は、11頁をご覧ください



頁右下のカット図へ続く



# ため池ハザードマップについて

このマップは、農業用ため池が200年に一度の大雨^(※)や地震等の災害により、万が一にも堤が壊れ、皆さんの地域にため池の貯水が流出した場合を想定して作成したものです。

豪雨や大地震時には特に注意し、浸水想定区域で居住または作業を行っている方は、速やかに避難が必要です。

ため池の貯水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池の周辺には沢や川があるため、継続して雨が降っている場合は完全に水が引くまで避難しててください。

万一、安全な場所に避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上に避難するようにしてください。

※200年に一度の大雨

○館野溜池

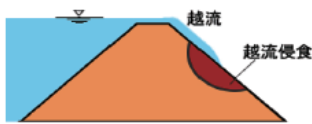
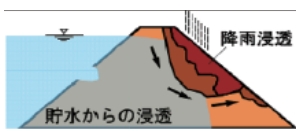
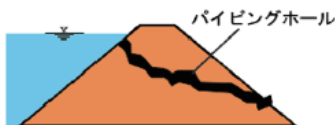
最大日雨量：157mm/24h 最大時間雨量：61mm/h (三沢観測所 雨量データより)

○第二米沢溜池


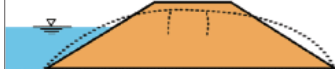



最大日雨量：210mm/24h 最大時間雨量：75mm/h (十和田観測所 雨量データより)

## 【ため池決壊のメカニズム】

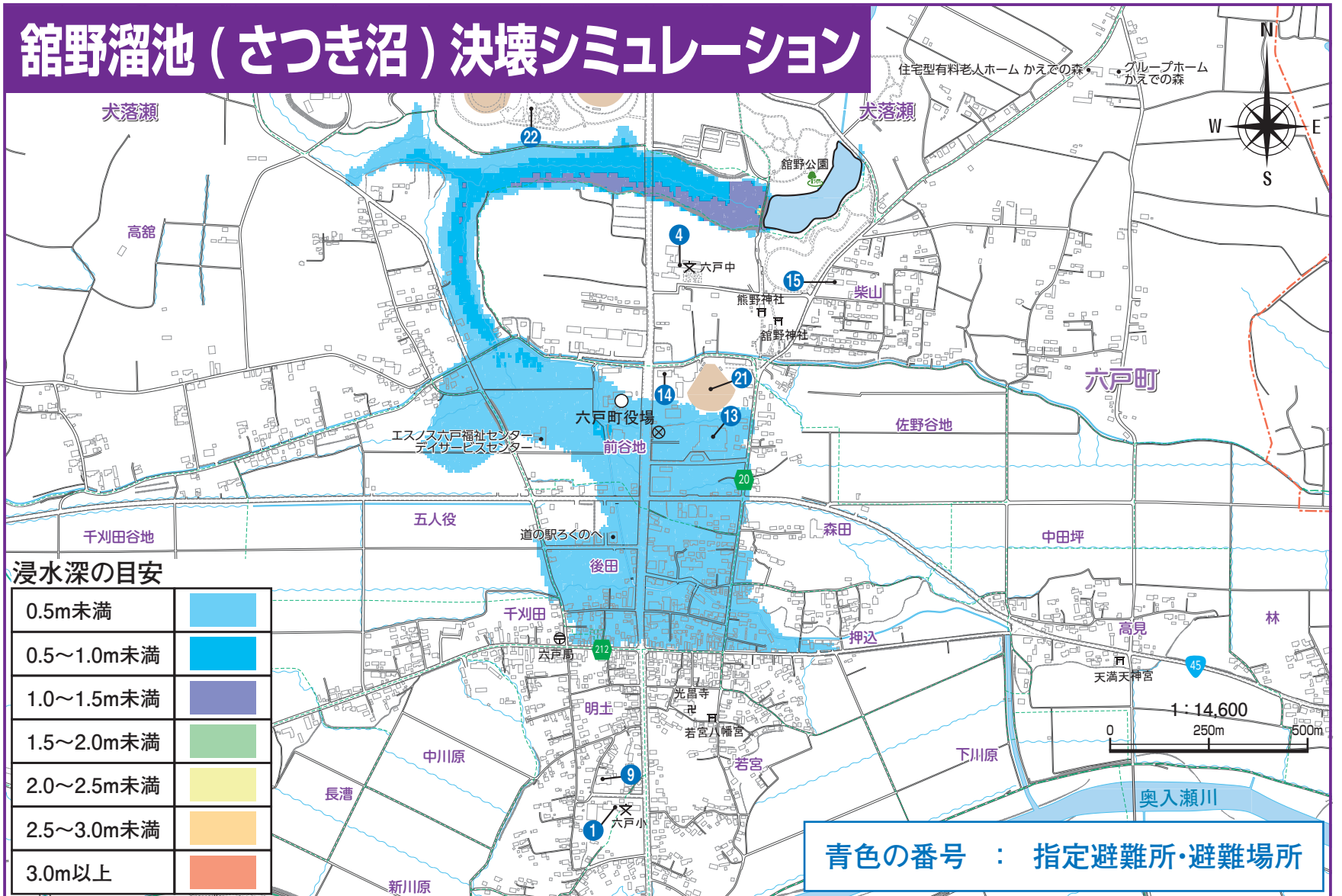
### ○豪雨によるため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
越流破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することによって、破壊する可能性がある。 また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する可能性がある。
すべり破壊		貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する可能性がある。
浸透破壊		堤体内が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する可能性がある。 また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する可能性がある。

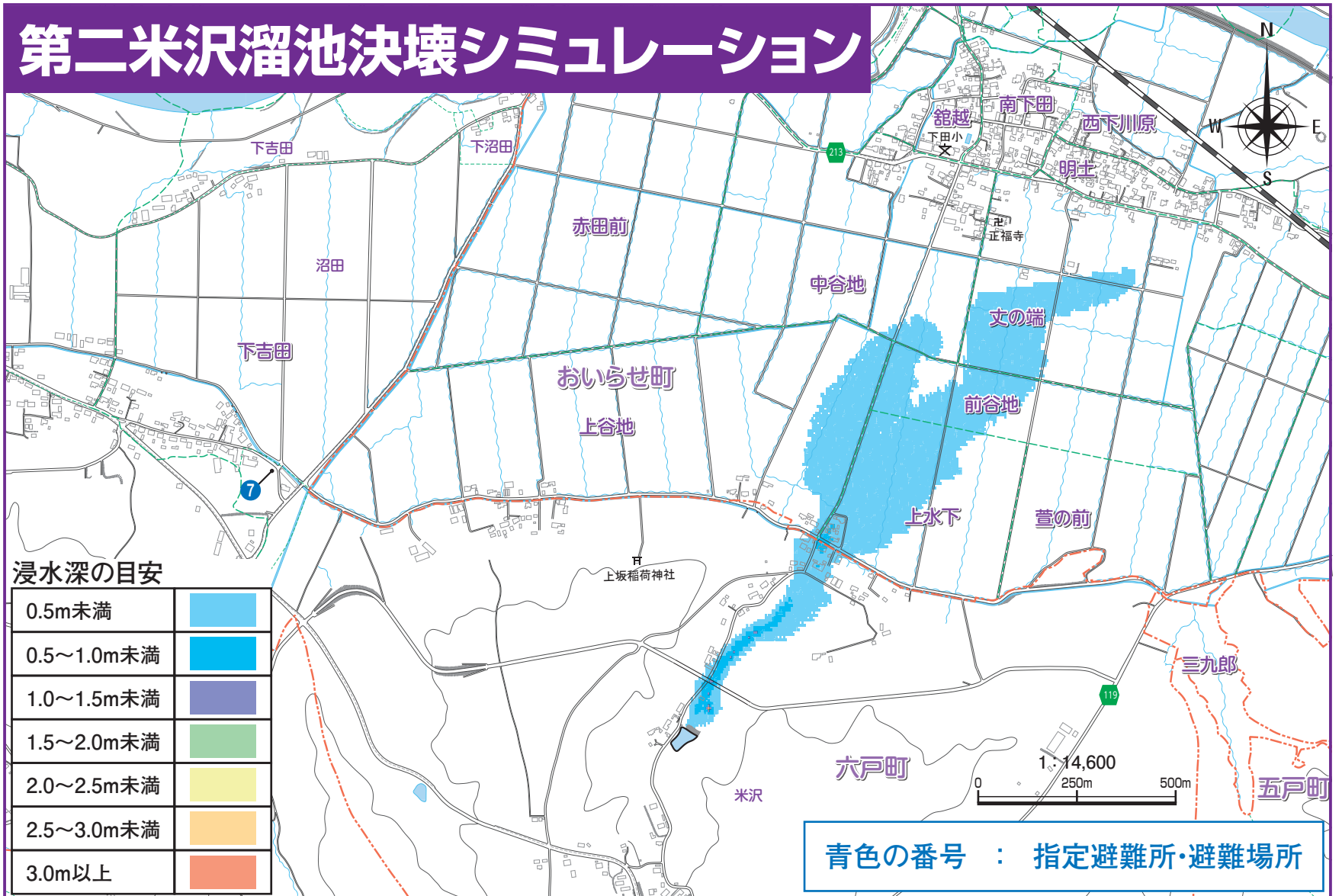
### ○地震によるため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する可能性がある。 堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要である。
沈下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する可能性がある。多くは軟らかい地盤で発生している。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる可能性がある。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する可能性がある。
崩壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する可能性がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

# 館野溜池（さつき沼）決壊シミュレーション



# 第二米沢溜池決壊シミュレーション



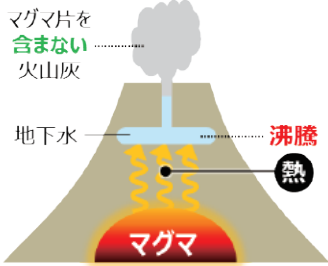
# 火山ハザードマップについて

町は、令和元年6月3日に、十和田火山の火山災害警戒区域に指定されました。

火山災害警戒区域とは、火山が爆発した場合に、住民等の生命又は身体に被害が生ずるおそれがあり、被害防止のため、警戒避難体制を特に整備すべき地域として、国が指定するものです。

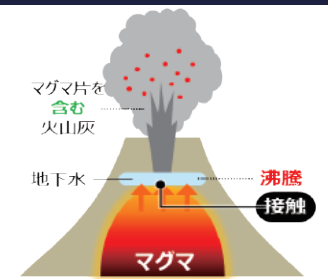
## 【火山の噴火の種類】

### 水蒸気噴火



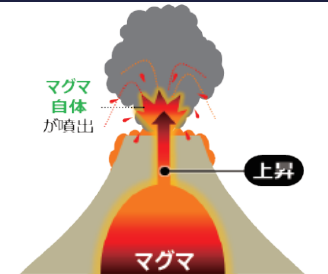
地表近くにある地下水がマグマからの熱で温められて水蒸気となり、その圧力で一気に爆発する現象です。

### マグマ水蒸気噴火



上昇してきたマグマが地下水にふれて水蒸気とともに噴出する現象です。

### マグマ噴火



地下から上昇してきたマグマ自体が地表に噴き出す現象です。

## 【噴火により起こる現象】

### 大きな噴石

爆発的な噴火によって火口から吹き飛ばされる直径約50cm以上の大きな岩石は、風の影響を受けずに火口から弾道を描いて短時間で落下し、建物屋根を打ち破るほどの破壊力を持っています。

### 火砕流・火砕サージ

高温の火山灰や岩塊、空気や水蒸気が一体となって急速に山体を流下する現象を火砕流といいます。中でもガス成分が多く、土石含有率の低い高度かつ希薄な流れを火砕サージと呼びます。破壊力が大きく極めて恐ろしい火山現象です。

### 降下火砕物

噴火による直径2mm以上の固形物を小さな噴石(火山れき)、直径2mm以下のものを火山灰といい、総称して、降下火砕物といいます。粒径が小さいほど遠くまで風に流され降下し、社会生活に深刻な影響を及ぼすことがあります。

### 溶岩流・溶岩ドーム

噴出したマグマが流下・定着する現象を溶岩流といいます。そのうち、マグマが火口上に盛り上がったものを溶岩ドームと呼びます。溶岩ドームが崩壊すると、火砕流が発生することがあります。

### 降灰後の土石流

火山噴火により噴出された岩石や火山灰が堆積しているところに大雨が降ると土石流や泥流が発生しやすくなります。これらの土石流や泥流は、高速で斜面を流れ下り、下流に大きな被害をもたらします。

### 融雪型火山泥流

積雪期の噴火に伴う火砕流等の熱によって斜面の雪が融かされ大量の水が発生し、周辺の土砂や岩石を巻き込みながら高速で流下する現象です。流下速度は時速60kmを超えることもあり、大規模な災害を引き起こしやすい火山現象です。

## 【十和田火山の融雪型火山泥流】

町に最も影響があると考えられる噴火現象が、十和田火山の融雪型火山泥流です。積雪期、融雪期に噴火し、大規模火砕流が発生すると、発生後3～6時間で、奥入瀬川に沿って泥流が流下してくる可能性があります。

下図および32ページのハザード情報は、実績積雪データと西暦915年噴火時の毛馬内火砕流の到達範囲を参考に、2年に1度程度の最大積雪深時に泥流が発生する場合を想定したものです。








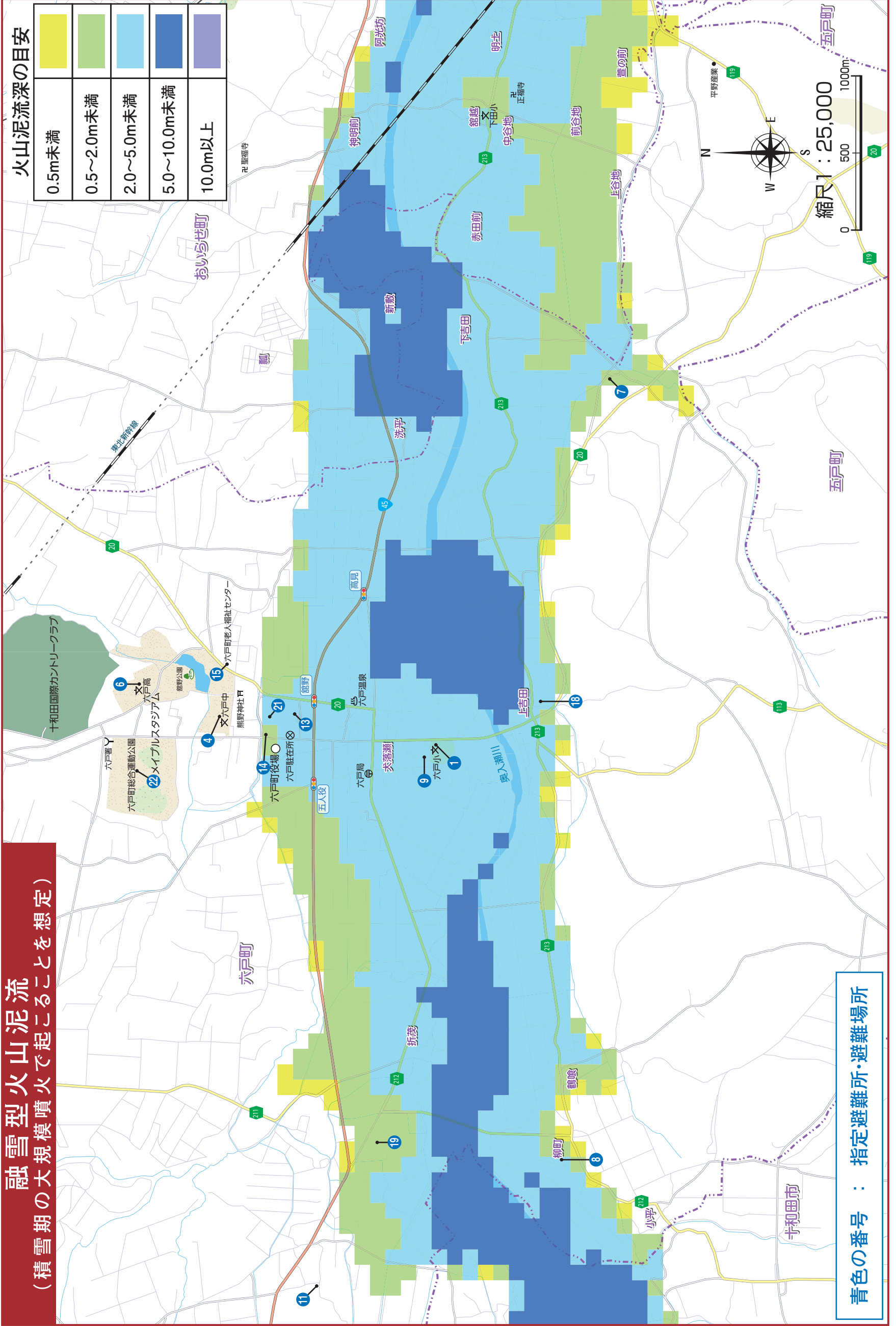
十和田火山防災協議会「十和田火山災害想定影響範囲図」より抜粋



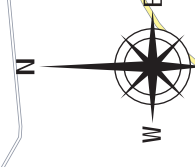
**融雪型火山泥流**  
(積雪期の大規模噴火で起こることを想定)

**火山泥流深の目安**

0.5m未満	
0.5~2.0m未満	
2.0~5.0m未満	
5.0~10.0m未満	
10.0m以上	



縮尺 1 : 25,000  
0 500 1000m



青色の番号 : 指定避難所・避難場所

# わが家の防災対策&チェック

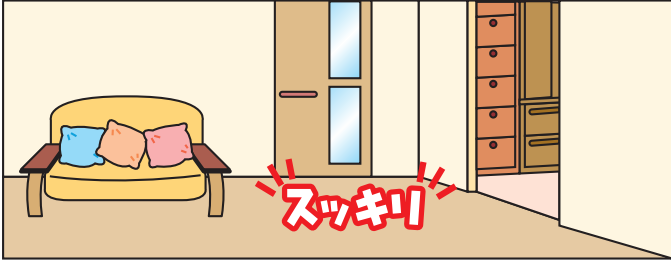
## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

# 1

### □ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



# 3

### □ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



# 2

### □ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

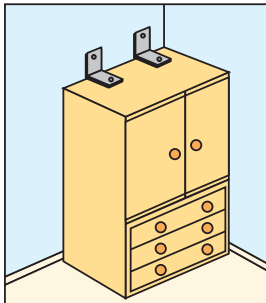
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

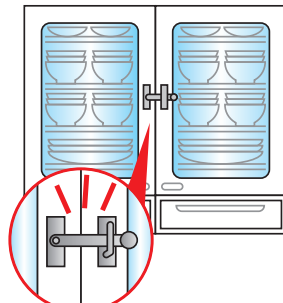
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



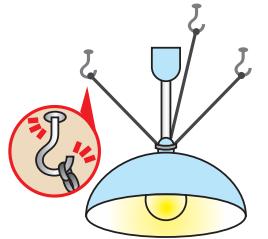
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



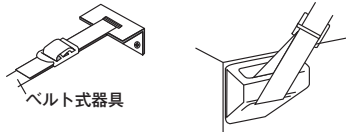
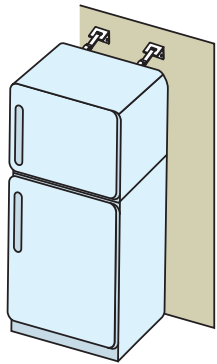
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。



### 冷蔵庫

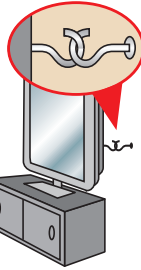
転倒防止用ベルトで固定します。



冷蔵庫裏面の取手にベルトを通して、なるべく壁に寄せて固定する。

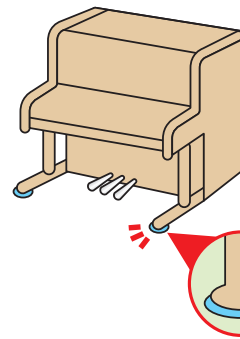
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上など、高い位置はさける)。



### ピアノ

転倒防止専用金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### □ 屋根

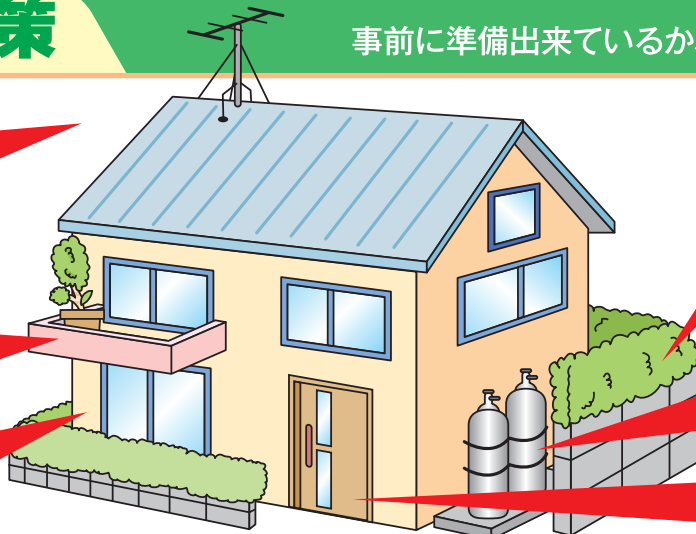
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### □ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

### □ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



### □ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### □ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

### □ 非常口の確保

# わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。  
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

世帯主氏名		電話	
住所			

避難場所	
家族が離ればなれになった時の避難場所	

家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ	

家族の 緊急情報・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	持病薬	かかりつけ医療機関	
【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。						
-----						
-----						

緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ	

# 情報収集方法

## 国交省「防災情報提供センター」

- <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
- 携帯電話から <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

## 気象庁

- <https://www.jma.go.jp>

## 青森地方気象台

- <https://www.jma-net.go.jp/aomori/>

## 消防庁

- <https://www.fdma.go.jp/>

## 六戸町ホームページ

- <http://www.town.rokunohe.aomori.jp/>

## 青森県河川砂防情報提供システム

- <http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp>

## 青森県土砂災害警戒情報システム

- <https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp>

## 青森県土砂災害警戒区域等マップ

- <http://www.sabomap.jp/aomori/>

# 防災無線テレフォンガイド

## 防災無線テレフォンガイドとは?

町の防災行政無線(町内放送)の放送内容を、電話で確認することができるサービスです。

### ご利用方法

電話番号 0176-55-4466 へ電話をかける→自動音声で最新の放送内容が再生されます。

※最新の放送内容から順に再生されますので、過去の放送内容を確認したい場合は、案内音声に従い操作してください。

※通話料は利用者の負担となります。

# 災害用伝言ダイヤル

## 災害用伝言ダイヤルとは?

地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音 171-1-被災地の方の電話番号

伝言保存期間 災害用伝言ダイヤル(171)運用終了まで

伝言の再生 171-2-被災地の方の電話番号

伝言蓄積数 1電話番号当たり20伝言まで

伝言内容(時間) 1伝言あたり30秒以内

利用可能電話 加入電話、INSネット(ダイヤル式を除く)、公衆電話、ひかり電話(ダイヤル式を除く)

# 防災関係機関連絡先

六戸町役場	0176-55-3111
十和田地域広域事務組合消防本部	0176-25-4111
六戸消防署	0176-55-2016
十和田警察署	0176-23-3195
十和田警察署六戸駐在所	0176-55-2110

青森河川国道事務所	017-734-4521
十和田国道維持出張所	0176-23-7138
上十三保健所	0176-23-4261
上北地域県民局地域整備部	0176-23-4311
東北電力(停電・緊急時)	0120-175-366

## 六戸町防災マップ

令和3年3月

発行 六戸町 総務課  
六戸町大字犬落瀬字前谷地60  
TEL 0176-55-3111(代)  
FAX 0176-55-3112

制作・著作 株式会社ゼンリン 八戸サービスセンター  
八戸市大字廿三日町10 石万ビル3F  
TEL 0178-43-3579  
FAX 0178-43-9717

無断で複写、転載することをご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この成果品は、青森県が作成した測量成果を青森県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号平成31年1月9日付け青林第905号)」  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-115号」

本文中の地図は、弊社2019年4月発行の六戸町住宅地図のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かい情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意を払い、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。